

回生ニュース

K a i s e i N e w s

社会医療法人 峰和会

90号

2016.9月発行

発行/社会医療法人 峰和会
編集/鈴鹿回生病院
所在地/鈴鹿市国府町112番地1
TEL/059-375-1212
FAX/059-375-1717
URL/http://www.kaisei.jp
編集協力/TCM Nagaya

- 1 医療の現場から
「2管球マルチスライスCT導入」
- 2 あなたの街のお医者さん
「加藤内科」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
- 4 鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・ロコモシリーズ ～転倒予防 Part 2～
・里芋コロッケ
- 6 回生.com
「ドクターズリスト」整形外科部長 福田 亜紀
- 7 Information

ほっと smile 他

第8回 脳卒中 市民講座 開催いたします！

入場 無料

平成28年 11月23日 水祝 13:00～
亀山市文化会館にて

テーマ 脳卒中と腎臓病

今年も毎秋恒例の亀山市脳卒中市民講座を開催いたします。今年のメインテーマは「**脳卒中と腎臓病**」です。脳卒中のリスクが高まると言われている腎臓病との関わりについて、専門医より、わかりやすくお話する講座となっております。昨年も200名を超える多くの市民の皆さんにご参加いただきました。皆さんお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。詳細はポスター等で告知いたします。

2 管球マルチスライス CTを導入

Introduce

当院では、今年1月、最新鋭2管球マルチスライスCTを導入し、2月より稼働を始めました。この装置は、三重大学医学部附属病院に続いて県内2例目です。胸部や腹部などの精密な検査を約1秒で行うことができ、患者さんの負担軽減や待ち時間短縮に大いに貢献しています。

従来装置との違い

●レントゲン撮影なみの撮影時間と、超低被ばく線量で撮影可能

2つの管球からそれぞれ異なる強さのX線を照射することでより詳細な画像がえられます。管球が動くスピードも速く、胸部検査はわずか0.6秒で完了します。

●胸部・腹部CTなどの呼吸とめ時間が1秒以下で撮影可能

心臓や肺などの動きが激しい臓器の解析に威力を発揮し、呼吸を止めるのが困難な患者さんや、小さなお子さんにもスムーズな検査が可能です。

●心臓CT検査の被ばく線量も1mSv以下で撮影可能

患者さんへの負担がかなり少なくなりました。

●災害時(停電時)でも非常用電源を使用して撮影可能

災害医療支援病院として、災害時でもCT検査は可能です。

●その他

従来はMRIでしか撮影が難しかった臓の撮影も可能となったことで、MRIであれば撮影時間が30分かかっていましたが、数分へ激減しました。

患者さんに優しい放射線課をめざして

私は、今年で勤続32年目になります。入職当初は私を含め2人しかいなかった放射線課ですが、現在は技師24人と大所帯です。放射線課の主な業務

として、診察にてレントゲン、CT、MRIなどの検査が必要と判断された際、撮影や画像の診断を行い、患者さんの担当医師への報告を行います。また開業医さんからの撮影依頼も多くありますが、ありがたいことに連携が良く取れていると、お褒めの言葉を頂きます。放射線機器は国家資格を持つ専門家が管理を行っており、放射線量を必要最小限に抑え、かつ診療に最適な画質を保障しています。当課の技師はみな勉強熱心で、さまざまな資格を得て活躍しています。今後も「県下で一番の患者さんに優しい放射線課」をめざして、日々研鑽してまいります。



課長 落合 嘉平

認定・資格取得一覧

第一種放射線取扱主任者 免状	2名
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 認定	9名
胃がん検診専門技師 認定	10名
胃がんX線検診読影部門B資格検定 認定	6名
胃がんX線検診基準撮影法 指導員	1名
臨床実習指導教員	1名
放射線治療専門技師	1名
放射線治療品質管理士	1名
MR専門技術者	1名
IVR専門診療放射線技師 認定	1名
肺がんCT検診認定技師 認定	1名
AI撮影認定放射線技師	2名
X線CT認定技師	4名
核医学専門技師	1名
マスター技師格	2名
シニア技師格	3名
アドバンス技師格	3名
放射線管理士	4名
放射線機器管理士	4名
検査技能検定 一般撮影 3級	4名
検査技能検定 MRI 3級	2名
検査技能検定 X線CT 3級	2名
検査技能検定 心・血管撮影 3級	4名
検査技能検定 一般核医学検査 3級	1名
検査技能検定 放射線医薬取扱 3級	2名
医用画像情報管理士	2名



連携医療機関紹介

加藤内科



▲ 院長の加藤崇明先生

開業5年目を迎えました

加藤内科は、算所3丁目1交差点を南下200mほどのところにあります。



院長の加藤崇明先生は、平成10年（1998年）三重大学医学部をご卒業後、第一内科へご入局。その後、名張市立病院、伊賀市立上野総合病院、鈴鹿中央総合病院などの医療機関にて内科医として研鑽を積み、平成23年（2011年）この地に開業されました。ご尊父さまは現役の泌尿器科医師で、先生ご自身も泌尿器科に進むか、悩んだ時期があったそうです。全身を診たいという思いが強く、2年間の全科ローテーション研修の末、内科を選択されました。

医師を目指したきっかけ

一番のきっかけは、医師である父の背中を見ていたことにあり、医師という道以外は考えられなかったそうです。「勤務医として働いていた父はほとんど家にいない状態で、一緒に過ごした時間は少なかったですが、忙しく働く父に、強い憧れがありまし

た」と当時を追憶されます。ご尊父さまと同じ医師となり、さまざまな医療機関に勤務されますが、どこの医療機関も働きやすい環境だったという先生。実は、一度も開業しようと思った事はなかったのだそうです。そんな先生に開業のきっかけを伺うと「1年ごとの転勤が続いた約10年前に、鈴鹿中央総合病院に赴任がきまり、ちょうどその頃、考えが変わりました。中高生活をこの鈴鹿の地で育んだ私は、友人、恩師もたくさんいます。これまでの医療経験を生かして、大好きな鈴鹿の地域医療に貢献したいと心に決め、そのためには開業しかないと思ったのがきっかけですね」。

現在、先生を筆頭に、看護師3名、事務3名、計7名体制で診療を行っています。

4つの柱

開業するにあたって、これだけ取り入れた

い4つの柱があったそ

うです。「1つは朝早くからの診療です。7時50分から開始しています。2つ目は、院内ですぐ採血結果を出すこと。患者さんに1ヶ月後の結果ではなく、現在の結果をお伝えしたいと思いました。3つ目は、院内処方です。院内のスペースはとりませんが、お子様連れや、お年寄り、車いすの方などは、門前薬局に行くだけでも大変なんです。最後に、今、最も力を入れている禁煙外来です。禁煙を希望される方は是非ご相談ください」。

月に一回のカンファレンス

加藤内科では来院された方に、『また来たい』と思っていただけるよう、接遇、医療知識の向上を目的とした勉強会を月に1回行っています。スタッフ一同、同じ方向を向いて、患者様の声に耳を傾け、患者様に寄り添った医療サービスを提供していけるように頑張っています。



DATA

TEL 059-370-5234

住所

鈴鹿市算所2丁目14番12号

診療科目

●内科

診療時間

午前／7時50分～12時00分

午後／3時00分～6時20分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	◎	×
午後	○	×	○	○	○	×	×

◎土曜日は午前7時50分から午後12時30分まで

休診日

火曜午後、土曜午後12時30分以降
日曜、祝日

患者さんへのメッセージ

～当院にお越しいただく方に、最大限努力して最高の医療を提供することが私の使命だと思っています。また開院するにあたり医院を小さな救急外来にしたいと思っていました。当院にはエコーもありますし、採血においては救急外来で出せる項目は網羅しております。一次救急の対応は十分可能です。心配ごとがあれば、まずはお越しください。必要があれば回生病院さんのような基幹病院へご紹介いたします～

今後もこの地域のかかりつけ医としてご活躍されることでしょう。

このコーナーでは毎号当院のドクターを紹介してまいります。

Doctors List

福田 亜紀 ふくだ あき 整形外科 部長

専門領域: 膝関節外科、肩・肘関節外科、スポーツ医学

資格: 三重大学医学博士、三重大学医学部臨床教授、三重大学教育学部非常勤講師、日本整形外科学会専門医、日本体育協会公認スポーツドクター、日本医師会健康スポーツ医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本臨床スポーツ医学会評議員、日本整形外科学会スポーツ医学部会議員、日本体力医学会東海支部理事、東海スポーツ傷害研究会幹事、三重県体育協会スポーツ医・科学委員(医学班班長)、三重県医師会スポーツ医学・健康教育委員、義肢装具適合判定医



Q1. 出身地はどちらですか？ 幼少時の思い出を聞かせてください

名古屋市の出身です。中学の後輩にはなんとフィギュアスケートで有名な浅田姉妹がいます。小学生時代は野球部に所属し、ショートを守っていました。中学校では、坊主にするのがいやという安易な考えで、やりたかった野球部ではなく、坊主にする必要のなかったバレーボール部に入部しました。今もそうですが、他人に強制されることが嫌いで少々わがままな子どもでした。



Q4. 趣味や好きな事 (ストレス発散方法など)は何ですか？

スポーツ：休みの日はほとんど子どもの野球の相手をさせられています。スポーツを観戦するのも好きですが、なんといっても実際の競技会場で観戦するのが一番です。

育児(イクメン)：現在3人の男の子(11歳・8歳・2歳)の子育て中です。育児は大変だと思われがちですが、やってみるとおもしろいことばかりです。おむつ替えからお風呂、寝かしつけなど日頃から接していると、子どもの成長を日々感じることができ、なにより、子どもの笑顔や寝顔を見ていると疲れが自然にとれてしまいます。



Q2. なぜ医師をめざしたのですか？

小さい頃からスポーツによるけがをたくさん経験してきました。野球やサッカー、バレーボールなどで投球障害肩、両足関節靱帯損傷、右腓骨筋腱脱臼、左鎖骨骨折などたくさんのけがをしました。練習や試合に出られないつらい日々を経験したことから、運動器を専門とする整形外科医を目指すようになりました。

Q3. 整形外科を 専門にしたのはなぜですか？

スポーツに特化した整形外科を専門にしたいと思っていました。しかし、当時はスポーツ整形外科という言葉も一般的ではなく、どうしたらチームドクターになれるのかもわかりませんでした。大学卒業後の進路を決める際、いろいろ悩んだ末に、三重県の関節鏡下手術のスペシャリストでありスポーツドクターの第一人者である整形外科の加藤公医師(現当院院長)に弟子入りすることに決めました。そのときの出会いのおかげで、ハンドボール全日本代表のチームドクターやオリックスのキャンプドクター、三重県体育協会および三重県医師会のスポーツ医科学委員など、スポーツに関わりのある分野でたくさんの仕事をさせていただいています。

Q5. 今後力を入れて行きたい事は何ですか？

三重県のスポーツの発展にすこしでも貢献していきたいと考えています。三重県体育協会スポーツ医・科学委員会の医学班班長をさせていただいていることなどもあり、平成33年に三重県で開催される三重国体の成功に向けて取り組んでいきたいと思っています。また、スポーツによるけがの多くは予防することが可能です。けがをしない体作りやけがの早期発見など、スポーツ傷害の予防に関する教育・啓発活動などにも力を入れていきたいと考えています。

Q6. 紹介を希望する疾患を教えてください

膝関節のスポーツ傷害(靱帯損傷、半月板損傷など)や肩関節疾患(腱板損傷、反復性肩関節脱臼など)などに対する関節鏡視下手術に力を入れています。また、野球による肩や肘の傷害に対して、トレーナーと連携し早期スポーツ復帰をめざした治療を行っています。

Q7. 学生時代の思い出をお聞かせください

学生時代は部活動には参加せず、同級生で草野球チームを作って、企業の野球チームなどと試合を行っていました。鈴鹿サーキットが近かったこともあり、F1や8耐などのモータースポーツの観戦にも通っていました。

Message

患者さんへのメッセージ

スポーツ医学センターでは、スポーツ選手のメディカルチェックや体力測定、健康増進のための運動教室などのサポートを行っています。お気軽にご相談ください。

1 日看護体験

7月28・29日、県内の病院で看護に関心のある高校生を対象として、「一日看護体験」が実施されました。当院は29日（金）、男女11名を受け入れ、5部署に分かれて体験をしていただきました。ケア中の参加者のイキイキとした笑顔に、私たちスタッフも癒されました。この経験をとおして、健康や看護に対する関心を高めていただき、また将来、看護職を志す方へのきっかけとなって頂ければと思います。



後期腎臓病教室スケジュール

「食事と運動こそすべての養生の基本」であるということを毎回参加者に楽しく学べる体験型の教室です。当院受診の方だけでなく、ご家族の方や他の病院に通院の方、腎臓病ではなくても関心のある方などなでも参加できます。教室では食事療法に役立つ昼食をご用意させていただきます。この機会にぜひ腎臓病について学びませんか？
12月と3月はオリジナル弁当（範囲内で自分で献立を選ぶ）開催予定です。

10/18（火）	11：45～13：30
11/15（火）	11：45～13：30
12/13（火）	11：45～13：45
1/17（火）	11：45～13：30
2/14（火）	11：45～13：30
3/14（火）	11：45～13：45

※都合により日時・内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

開催の1週間前までに下記までお申し込みください。
栄養管理課：059-375-1329 担当：北林または村上まで
参加費：お一人様 1000円（食事代込み）
※定員になり次第予約を締め切らせていただきますのでご了承ください。

ちょこっと検査

ちょこっと検査『選べる5項目コース』新規導入しました。生化学25項目の中から気になる5項目を選んで検査が受けられます。詳しくは臨床検査課ちょこっと検査受付までお願いします。

曜日 月曜～金曜

時間 9:00～16:30

「動脈硬化が気になる方」のみ
13:00～16:30となります。

サマーコンサート開催

7月23日（土）、入院中の患者さんが、入院生活を少しでも楽しく明るい気持ちで過ごしていただけるようにサマーコンサートを開催しました。看護師さんによる手遊び歌、三味線サークル「響」による演奏、回生キッズのダンスの披露や、女性コーラスグループのスカイラークの皆様にお越しいただき美しい歌声を披露されていました。



ほっと smile

災害時医療活動訓練



8月6日（土）に災害時医療活動訓練を実施しました。

この訓練は国及び三重県との合同訓練で、その他にも沢山の行政機関や医療機関が訓練に参加しました。この地域で想定されている南海トラフの巨大地震が発生した時に各機関の連携等を確認する為の大規模な訓練で、当院については多数の患者さんが来院した場合の対応確認と本部機能の確認、外部との医療連携の確認等を行いました。猛暑の中沢山の職員が参加し災害時に当院の役割りを適切に行えるよう真剣に取り組んでいました。



編集後記

今回は「CT」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。（病院玄関）

病院の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し医療の質を向上させます
- ▶ より安全で高度な医療を提供します
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地1

TEL059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com